

佐賀植物友の会会報

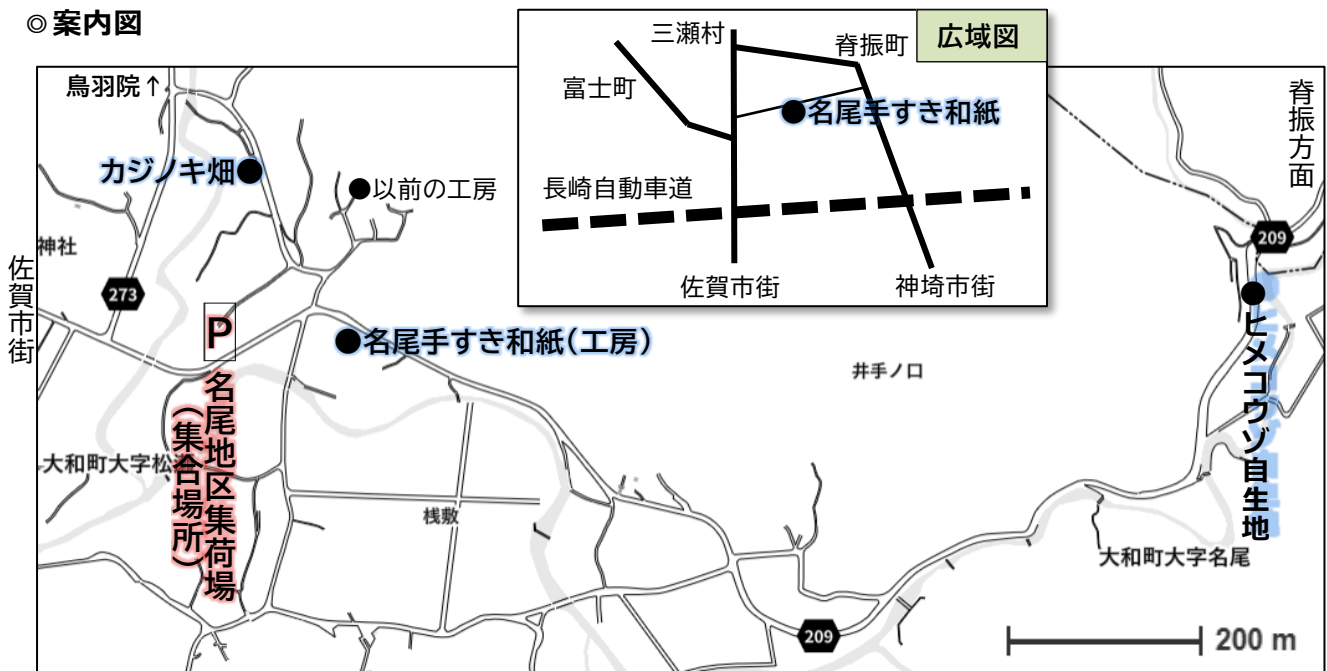
第702回例会案内 ^{な お て} ^{わ し} 名尾手すき和紙～植物から和紙ができるまで（佐賀市）担当：神代・山崎・松田

佐賀市大和町の名尾地区に紙漉きの技術が伝わったのは300年以上前。最盛期の昭和初期頃には100軒もの家が農業の傍ら紙を漉いていたそうです。現在は1軒を残すのみとなり、「名尾手すき和紙」は県重要無形文化財に指定されています。今回は、名尾地区で和紙の原料として使われているカジノキや、近似種のヒメコウゾを観察した後、工房内で製造工程や和紙にまつわる植物について学習します。名尾手すき和紙は2021年8月の豪雨で被災し、2023年7月に下記の住所に工房を移転しました。今年6月には同敷地内に直営店（兼展示場）がオープンしています。観察会終了後、工房横の軒下等で各自ご自由に昼食をおとりいただき、周辺の散策や直営店などもお楽しみください。

なお、観察地へは車に分乗して移動しますので長距離を歩くことはありませんが、熱中症対策や水分補給は各自でお忘れないようにお願いします。トイレは工房、店舗内を利用できます。

- ◎と き 2024（令和6）年7月21日（日）
- ◎と ころ ^{な お て} ^{わ し} 名尾手すき和紙（佐賀市大和町大字名尾4674-1）周辺
- ◎集 合 名尾地区集荷場 10:00 ※**友の会の旗**と**駐車場の**看板を立てています。
- ◎日 程 集荷場 10:00⇒カジノキ畑 10:10～10:35⇒ヒメコウゾ自生地 10:45～11:00
⇒集荷場戻り～工房まで徒歩約100m～工房見学 11:10～12:00—解散・昼食等

◎案内図



◎和紙づくりにまつわる植物

カジノキ、ヒメコウゾ、トロロアオイ、ノリウツギ、タブノキ、サネカズラ、シュロ、サクラ※総称、タケ※総称